

家畜の主な病気(要約)

種類	病名	畜種	病原	主要臨床症状	ワクチンの有無	備考
法定	口蹄疫	牛、めん羊、豚	ウイルス	5～8日の潜伏期後、突然の発熱、元気消失、流涎、舌・冠部に水疱、びらん	国内は無	備蓄用ワクチン有
法定	炭疽	牛、馬、めん羊、豚	細菌	急性敗血症で一晩のうちに死亡	有	人畜共通
法定	ブルセラ病	牛、めん羊、豚	細菌	流産、後産停滞、不妊症	無	人畜共通
法定	結核病	牛	細菌	発咳、消瘦、泌乳量の低下、体表リンパ節の硬直腫大	無	人畜共通
法定	ヨーネ病	牛、めん羊	細菌	下痢、貧血、消瘦、泌乳低下・停止	無	
法定	牛海綿状脳症(BSE)	牛	プリオン	情緒不安定、歩行障害、運動失調、神経症状、外部刺激に過敏反応	無	
届出	ブルータング	牛、めん羊	ウイルス	通常不顕性感染、口腔・歯床・鼻鏡に潰瘍、痂皮形成・流産、死産	無	
届出	アカバネ病	牛、めん羊	ウイルス	母牛は無症状、子牛は前肢湾曲、斜頸、脊椎のS字状湾曲、盲目、虚弱	有	
届出	チュウザン病	牛	ウイルス	新生子牛の病気、起立不能、虚弱、自力吸乳不能、痲癩様発作、頭頸部反張	有	
届出	牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD・MD)	牛	ウイルス	1～3週の潜伏期後、発熱、発咳、蹄冠部糜爛、水様性下痢、口腔粘膜糜爛、異常産	有	
届出	牛伝染性鼻气管炎(IBR)	牛	ウイルス	2～4日の潜伏期後、食欲廃絶、鼻鏡部発赤、発熱、流涎鼻汁は粘性・膿性	有	
届出	牛白血病	牛	ウイルス	1～8年の長い潜伏期後、消瘦、食欲不振、眼球突出、下痢、便秘等、体表リンパ節腫大	無	
届出	アイウイルス感染症	牛	ウイルス	通常不顕性感染、流産によって感染が確認される	有	
届出	イバラキ病	牛	ウイルス	嚥下障害、結膜の充血・浮腫、膿様鼻汁、泡沫性流涎、鼻口腔粘膜の充血・潰瘍・糜爛	有	
届出	牛流行熱	牛	ウイルス	3～8日の潜伏期後、突然の悪寒戦慄、高熱、呼吸促迫、泡沫性流涎、関節炎、跛行、窒息死	有	
届出	気腫疽	牛、豚	細菌	発熱(41～42℃)、反芻停止、食欲減退、体表の浮腫、筋肉の腫脹、呼吸困難	有	
届出	サルモネラ症	牛、豚、鶏	細菌	下痢、発熱、元気消失、食欲不振・廃絶、脱水症状	有	(ワクチンは牛・鶏)人畜共通
	牛アデノウイルス病	牛	ウイルス	発熱、鼻炎、発咳、結膜炎、食欲減退、呼吸困難、下痢、長期化すれば死亡	有	
	牛コロナウイルス病	牛	ウイルス	1～3日の潜伏期後、軽度発熱、突発性下痢、子牛では白痢、成牛では淡褐色粘血便	有	
	牛RSウイルス病	牛	ウイルス	発熱稽留、呼吸促迫、発咳、粘稠鼻汁漏出、流涎、粘膜の充血、流産、予後不良	有	
	牛ロタウイルス病	牛	ウイルス	12～36時間の潜伏期後、突然の元気消失、黄色下痢便、脱水、死亡率50%以下	有	乳汁免疫
	牛パスツレラ(マンヘミア)症	牛	細菌	発熱、反芻停止、流涎、流涙、粘膜様鼻汁	有	
	牛ピロプラズマ病	牛	寄生虫	弛張熱、貧血、黄疸、死亡	無	
	牛肺虫症	牛	寄生虫	発咳、鼻汁排出、発熱、心拍数増加、呼吸困難、下痢、消瘦	無	
	コクシジウム病	牛	寄生虫	粘血便、下痢、食欲減退または廃絶、衰弱、貧血、脱肛	無	
	乳頭糞線虫症	牛	寄生虫	持続性の軟便・下痢、衰弱、元気消失、脱水症状、貧血	無	
	クリプトスポリジウム症	牛	寄生虫	下痢、衰弱、元気消失、脱水症状	無	人畜共通
届出	ネオスポラ症	牛	寄生虫	流死産、新生子牛の虚弱・起立不能	無	
	硝酸塩中毒	牛	硝酸塩	元気消失、食欲不振・廃絶、下痢、呼吸促迫、可視粘膜薄紫色、起立不能	無	
	大脳皮質壊死症	牛	チアミン欠乏	平衡失調歩様の神経症状、起立不能、死亡	無	

家畜の主な病気(要約)

種類	病名	畜種	病原	主要臨床症状	ワクチンの有無	備考
法定	豚コレラ	豚	ウイルス	発熱、下痢、神経症状、後軀麻痺、紫斑	国内は無	
届出	オーエスキー病	豚	ウイルス	哺乳豚:元気消失、発熱、下痢、神経症状(搔痒症)、死産	有	
届出	豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)	豚	ウイルス	妊娠豚:繁殖障害(未熟子、後期流産等) 子豚:発熱、元気消失、呼吸困難	有	
届出	豚流行性下痢(PED)	豚	ウイルス	黄色水様下痢、脱水 母豚の食欲減退、発熱、泌乳量減少・停止	有	
届出	伝染性胃腸炎(TGE)	豚	ウイルス	下痢に先行した嘔吐、激しい水様下痢、脱水 母豚の著しい泌乳低下	有	
届出	豚丹毒	豚	細菌	敗血症型:高熱、食欲廃絶、関節炎、じん麻疹 熱型:発熱、食欲減退、発疹	有	人畜共通
	トキソプラズマ病	豚	寄生虫	発熱、肺炎	無	人畜共通
	豚胸膜肺炎	豚	細菌	発熱、元気及び食欲廃絶、チアノーゼ、呼吸促進、敗血症	有	
	豚大腸菌症	豚	細菌	哺乳停止、灰白色～黄色水様下痢、脱水	有	
	滲出性表皮炎(スス病)	豚	細菌	皮膚の皮脂様滲出物、食欲減退、元気消失	無	
法定	馬伝染性貧血	馬	ウイルス	急性型:急激な発熱、衰弱、貧血、死亡 亜急性型:回復後再発繰り返し、衰弱死亡 慢性型:回帰熱、症状消失	無	
届出	馬インフルエンザ	馬	ウイルス	発熱、鼻汁漏出、発熱、一般症状の悪化、流涙、頸部リンパ節の腫脹	有	
届出	馬鼻肺炎	馬	ウイルス	子馬:発熱、漿液性鼻汁排泄、予後不良 妊娠馬:無症状、分娩前2～3か月の流産	有	
届出	馬伝染性子宮炎	馬	細菌	雌馬は交尾後、陰門部から灰白色・粘稠性の滲出液、発情周期異常・受胎率低下	無	
届出	馬パラチフス	馬	細菌	発熱、乳房腫脹、膿性の膣分泌物排泄、妊娠末期の流産、子馬では慢性下痢、関節炎	無	
	馬糸状虫症	馬	寄生虫	幼駒:栄養不良、貧血、削瘦、混睛虫症(幼虫が前眼房内に迷入)	無	
法定	ニューカッスル病	鶏	ウイルス	アジア型(胃腸炎型):致死率非常に高い アメリカ型(呼吸器・脳炎型):比較的軽症 病原性が高いものとして農水省で定めるものに限る	有	人畜共通
届出	低病原性ニューカッスル病	鶏	ウイルス	臨床症状はない	有	
法定	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)	鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、七面鳥、ほろほろ鳥	ウイルス	高い死亡率、神経症状、呼吸器症状、消化器症状、鳥から鳥の直接感染だけでなく水・排泄物等を介しても伝播	国内は無	人畜共通
法定	低病原性鳥インフルエンザ(LPAI)	鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、七面鳥、ほろほろ鳥	ウイルス	呼吸器症状、産卵率低下、臨床症状は軽度だが、伝播力は強い	国内は無	人畜共通
届出	鳥インフルエンザ	鶏、あひる、うずら、七面鳥	ウイルス	上記以外の鳥インフルエンザによる疾病	無	
法定	家きんサルモネラ感染症	鶏	細菌	元気・食欲消失、下痢	無	人畜共通
届出	鶏マイコプラズマ病	鶏、七面鳥	細菌	呼吸器症状、産卵率低下	有	マイコプラズマ・ガリセプティカム(MG)用ワクチンあり
法定	腐蝕病	蜜蜂	細菌	2～3日齢蜂児の死亡・腐敗	無	
届出	アカリダニ症	蜜蜂	寄生虫	呼吸困難、飛翔不能	無	